

地球温暖化防止のために立ち上がるう！

今年が京都議定書発効の年として地球温暖化に本腰を入れなければならないことから私もこのテーマで議会の一般質問に立ちました。

この問題は私にとっても大きなテーマであり、勉強しなければならないことがたくさんあるので、研究機関の専門家をはじめ詳しい人に教えていただいたり、本を読んだり、県の環境部の地球温暖化対策担当と会ったり、その上で一般質問を作り上げたり市の担当課と打ち合わせをしたりと、約1ヶ月間集中して取り組みました。

私の趣旨としては、社会問題としての地球温暖化対策への取り組みにあわせて、小中学生への教育への取り込みに重点を置いています。子どもたちの将来のために今大人がやっておかなければならないこととして責任が果たせるようこの問題に真剣に向き合うつもりです。

もうひとつは、今までも取り組んできた自殺対策の問題で、地域ボランティアの連携あるいは既存の組織への自殺対策問題の盛り込みです。行政としてさまざまな相談窓口はできていますが、それらの連携の確認とそこへいくための市民レベルでの気づきの創出を目指します。

以下質問項目です

1 地球温暖化対策について

(1) 市民環境行政について

ア地球温暖化防止に対する市の認識
イ本市の取り組みについて

(ア) 市役所としての具体的な取り組み

(イ) 市民に働きかける取り組み

ウ環境対策としての教育活動について

(2) 教育行政について

ア地球温暖化を理解できる学力はどの程度か

(3) 環境先進市への取り組みについて

ア環境都市宣言の作成

イノーカーデーなどの具体的運動と
環境対策という観点からのフラワー
号利用推進

ウ環境ビジネスや企業の取り組みの促進

2 自殺対策について

(1) ボランティアグループなどの把握について

ア市役所内の組織と連携について

イ市内のグループへの呼びかけとネットワーク化

ウ近隣自治体とのネットワークづくり
工県との連携について

今回この問題に取り組んで感じたこと。問題の現実には厳しく、市としてもエコライフデーなどをはじめとして熱心に取り組んでいて取り組みの成果は理論上出ていますが、実質的な気温や二酸化炭素濃度の観測値を見ると温暖化は一向に改善に向かっていない現状です。だからこそもっともって声を上げ、体を動かしていかなければならないと思います。自殺対策も同じです。行政がかかわり始めたばかりで、まだ対策の効果は上がっていません。まるで雲をつかむような感触に思えます。

それでもあきらめないで、未来を信じて前進あるのみです。



地球温暖化についてわかりやすく解説している元アメリカ副大統領アル・ゴア氏によるDVD
「不都合な真実」